

クワの株下げ樹形改造の冬期処理

(蚕試 栽桑部)

1 背景とねらい

桑園の生産性を高め機械収穫による育蚕の省力化を図るため、密植機械化桑園の導入・拡大が推進され、既設普通桑園では株下げによる樹形改造・樹勢更新と畦間への桑新品種補植の組み合わせによる密植化が導入されている。しかし、既設桑園の株下げ樹形改造作業は、一般に春の融雪後に行なわれているが、この時期は農作業の最も繁忙な時期であり、一連の春の桑園管理に支障を来すなど密植化技術の普及を妨げている。

そこで、農閑期の秋冬期から春期にかけての株下げ樹形改造処理の適否について検討した。

2 技術内容

- 1) 既設普通桑園の株下げ樹形改造の処理は、冬期(12月以降)でも融雪後の処理と大差ない樹勢更新効果が得られる。
- 2) この冬期処理は、処理後の土壌改良作業を早め、一連の春期桑園管理作業と畦間補植の適正実施に有効な手段である。
- 3) この技術の適用地域は、県南部を中心に沿岸部などの少雪地域である。

3 指導上の留意事項

- 1) 11月までの樹形改造処理は、12月以降の処理に比べ枝条の発生や伸長が劣り、収穫量も減少するので処理は12月以降に実施する。
- 2) 株下げで切り取った株は、病虫害の宿主になるので、できるだけ速やかに圃場外に搬出するとともに薪材・茸床材など有効利用に努める。

4 参考文献・資料

及川直人・壽 正夫・藤沢 巧(1989): 岩手蚕試要報 13、6~9

5 試験成績の概要

表1 樹形改造処理時期別の樹勢調査

'89年7月27日調

処 理	調査株	健全株(割合)	發育不良株*	不發芽株
11月	100株	94株 (94)	5株	1株
12月	100	96 (96)	3	1
2月	100	93 (93)	3	4
3月	99	90 (91)	5	4
4月	99	91 (92)	5	3

* 發条数が1～3本の株及び最長枝条長が70cm未満の株

表2 樹形改造処理時期別の収穫枝条調査

株当たり(10株平均)

項目	初 秋 蚕 期 (7月27日)				晩々秋蚕期(9月28日)		
処理	枝条長	条 径	枝条数	総条長(指数)	枝条長	枝条数	総条長(指数)
11月	68.2cm	7.10mm	14.2本	9.68m(69)	54.0cm	22.0本	11.88m(102)
12月	79.5	8.46	14.5	11.53(82)	51.1	22.7	11.60(99)
2月	63.3	6.63	18.5	11.71(83)	52.7	22.9	12.07(103)
3月	77.6	8.33	18.1	14.05(100)	53.6	21.8	11.68(100)
4月	77.1	7.97	18.6	14.34(102)	49.3	25.5	12.57(108)

初秋蚕期: 基部30cm残し収穫、 晩々秋蚕期: 再發枝20cm残し収穫

表3 樹形改造処理時期別の収穫量調査

10a当たり

項目	初秋蚕期(7月27日)			晩々秋蚕期(9月28日)			合 計
処理	条桑量	葉量割合	葉量(指数)	条桑量	葉量割合	葉量(指数)	
11月	847kg	66.3%	562kg(82)	530kg	74.7%	396kg(87)	958kg(84)
12月	1,036	65.2	675(99)	590	74.4	439(96)	1,114(99)
2月	1,155	64.8	748(109)	622	75.4	469(103)	1,217(107)
3月	1,052	65.0	684(100)	614	74.2	456(100)	1,140(100)
4月	1,107	65.4	724(106)	681	75.3	513(113)	1,237(109)

初秋蚕期: 基部30cm残し収穫、 晩々秋蚕期: 再發枝20cm残し収穫